

Forest通信 令和5年 4

No.410

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭

Photo

高尾山のいきものたち

アサヒナカワトンボ (カワトンボ科)



水辺でメタリックグリーンに輝くトンボ。体長が5~6cmで、身体は金属光沢のある緑色。成熟した雄の腹部は白く粉っぽくなっている。翅の色は、無色透明や褐色、橙色と変化がある。また、前後の翅が同じ形をしているので、閉じていると一枚に見える。

丘陵や山地の樹林に囲まれた溪流などに棲み、成虫は4~8月に見られ、水辺を飛び回り、小型昆虫を食べる。雄は、川面の石や植物に止まって縄張りを見張っていることがある。産卵は、水生植物や流木に行い、卵の期間は2~3週間で、ヤゴとなって1~2年過ごす。ヤゴは、川の中で主に小型の水棲昆虫を食べて生活している。高尾の森から流れる清らかな水も、この緑に輝く命を育てている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富ちゃん 皿ちゃん

NO.73



コウヤマキ (コウヤマキ科)

コウヤマキは1属1種の常緑針葉樹高木で、高さ30m以上、直径1mに達するものがあります。ただ、高尾山にはあまり植林はされてはいません。

高野山に多く生息していることが語源で、高野山では霊木とされています。木曽の五木(ヒノキ・アスナロ・コウヤマキ・ネズコ・サワラ)でもあります。

木材としては、辺材は白色、心材は淡黄褐色で色味がかなり違うため、辺材と心材の区別は明瞭ではっきりしています。木理は通直で、特有の臭気があり、硬さが中庸で切削などの加工は容易、水湿にたいしては強いといわれています。

主な用途としては風呂桶が有名。この特性を活かし手桶、漬物桶、味噌桶、御櫃などにも使用されます。古墳時代に埋葬された巨大な木棺は、コウヤマキの巨木の丸太をくり抜いて作ったものが多かったようです。

ちなみに、高野槇は秋篠宮家の悠仁親王のお印で「大きく、まっすぐに育ってほしい」との思いが込められているそうです。(皿)



写真: 中部森林管理局HPより

森林教室

東村山市立 北山小学校

3月7日（火）、東村山市立北山小学校5年生63名の森林教室を、高尾山日影沢キャンプ場と周辺の国有林で実施しました。

午前中は森林観察です。人工林と天然林の違い、針葉樹と広葉樹の生長の仕方の違いなどについて学習したり、水が滴り落ちる林内で、緑のダムとしての森林の機能について説明を受けている際には、タゴガエルの「グワッ、グワッ」という縄張りを主張する声を聞くことができ、鳴き声を返すなど児童達も大喜び。春の訪れを感じることが出来た森林観察となりました。

午後は、森林学習と丸太切りを2グループに分かれて交互に実施しました。森林学習は、管理棟の中で森林の役割や林業についてのお話し。丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながら、最初はどうも切れない子もいましたが、だんだん上手に切れるようになり、輪切りの匂いを嗅いだりして皆楽しく丸太切りを体験していました。

まだ若葉もそんなには出ていませんでしたが、随所に春の訪れを感じられる森林教室となりました。

（瀬）



森林教室

板橋区立 高島第六小学校

3月9日（木）、板橋区立高島第六小学校の児童7名と日影沢キャンプ場で森林教室を行いました。

午前は森林散策、午後は森林学習と丸太切りを交互に行いました。森林散策はひと班13人ほどになってしまい、細い道ではなかなか説明がしにくい状況でしたが、とても楽しんでもらえた様です。まだ花や葉も出る前のため観察するものが少なく、去年から残ったアオキの実やジャノヒゲの実でたくさん遊んだり、木漏れ日を眺めて森の美しさを感じる時間を取りました。植物はまだですが生き物が活発に動き出していました。タゴガエルがよく鳴き、サワガニが始めました。生き物とのふれあいにとても喜んでいました。

さらに、高尾山の国有林はスギ、ヒノキの林が多く散策の途中で風で落とされたスギの枝を振ると花粉が大量にでてきました。花粉症の児童は悲鳴をあげて逃げていましたが、花粉が実際に散布される様子は初めて見たと距離を取りながらも眺めていました。

今日は帰り時間がいつもより早い時間に設定されているので、丸太切りは大急ぎで切りました。輪ぎった丸太を手袋を外して触れて、まだ乾いていない生の木材に驚いていました。また、つい最近まで山で生きていた事や自分たちのためにフォレストサポートの方々が出てきてくれたことにも驚いていました。丸太切りだけでもたくさんさんの気づきや驚きがあり自分の手で切った輪切りをお土産にして大喜びでした。当日はとても天気にも恵まれ、春の陽気の中実施できました。

（岩）



令和5年度森林ふれあい推進事業決定

令和5年度森林ふれあい推進事業の実施にあたり、関東森林管理局長と協定を締結しイベントを開催していただく4団体とイベント内容を次の通り決定致しました。参加ご希望の方は各実施団体宛に直接お申し込みください。
また、高尾森林ふれあい推進センターHPの募集要項も併せてご覧ください。

令和5年度森林ふれあい推進事業イベント実施団体実施計画表

1. 森林インストラクター東京会 会長 宮入 芳雄

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員
①「春の香りに誘われて」スミレやフタバアオイがひっそり咲く日影へ	4/11 (火)	3/29 (水)	40名
②三山踏破(陣馬山・景信山・高尾山)	5/10 (水)	4/26 (水)	40名(健脚向き)
③風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ	5/21 (日)	5/8 (月)	40名(健脚向き)
④セッコクと初夏の草花を訪ねて	5/30 (火)	5/16 (火)	40名
⑤初夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング	6/10 (土)	5/26 (金)	40名(健脚向き)
⑥高尾山 初夏の親子自然観察会	6/25 (日)	6/9 (金)	40名(親子)
⑦高尾山の樹木を楽しむハイキング	6/30 (金)	6/16 (金)	40名
⑧小下沢の溪流ジャブジャブ歩き	7/16 (日)	6/30 (金)	40名(親子)
⑨大垂水峠から♪秋の花を探そう*爽やかハイキング	9/19 (火)	9/5 (火)	40名
⑩高尾山の隠れた魅力 林道歩きを楽しむ!	10/13 (金)	9/29 (金)	40名
⑪高尾山 秋の親子自然観察会	10/22 (日)	10/6 (金)	40名(親子)
⑫高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体感~八十八大師・空海像巡り~	11/7 (火)	10/24 (火)	40名(健脚向き)
⑬晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング	11/18 (土)	11/2 (木)	20名
⑭もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる	11/22 (水)	11/8 (水)	40名(健脚向き)
⑮奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング	12/5 (火)	11/21 (火)	40名(健脚向き)
⑯氷の華「シモバシラ」と富士山の展望を楽しむハイキング	1/9 (火)	12/26 (火)	40名
⑰相模湖から小仏城山を経て高尾山頂へ真冬のハイキング	1/23 (火)	1/9 (火)	40名(健脚向き)
⑱魅力満載・冬の高尾山を歩く	2/6 (火)	1/23 (火)	40名
⑲春の健康ハイキング~北高尾の森で春を探そう~	3/14 (木)	2/29 (木)	40名
⑳高尾山 春の親子自然観察会	3/24 (日)	3/8 (金)	40名(親子)
㉑カタクリ・シュンラン・ベニシダレザクラを訪ねる春風ハイキング	3/29 (金)	3/15 (金)	40名

【申込方法】 申し込みは各イベントごとに郵便またはメールで
「イベント名」「参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、性別」「代表者の郵便番号、住所、電話番号(中止時の連絡先)、メールアドレス(お持ちの場合)」をご記入の上
往復はがき 〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1 高尾森林ふれあい推進センター宛郵送
メー ル : 募集チラシに掲載されているメールアドレスに送信 (イベントごとにアドレスが違います。)
募集チラシは高尾森林ふれあい推進センターHPからご覧いただけます。 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

2. 特定非営利活動法人 森とてんえん倶楽部 理事長 横山信明

コース	イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
T-1	高尾山の恵み観察と魚取り体験教室Ⅰ	8/11 (金)	6/12~7/12	50名(小学生25名・保護者25名)
T-2	高尾山の恵み観察と魚取り体験教室Ⅱ	8/12 (土)		50名(小学生25名・保護者25名)
T-3	山の恵みと昔からの染物体験教室	10/8 (日)	8/8~9/7	50名(小学生25名・保護者25名)
T-4	引っ付き虫探しウォーキングと丸太切り体験教室	11/5 (日)	9/5~10/4	50名(小学生25名・保護者25名)

【申込方法】 (募集対象・参加費等詳しくは募集チラシをご確認ください。)
①催し名/ご希望コース ②保護者を含む参加者全員のお名前/ふりがな ③性別 ④参加者全員の年齢 ⑤学校名 ⑥郵便番号 ⑦住所
⑧メールアドレス ⑨電話番号 を明記し、なるべくEメールでご応募下さい。
特定非営利活動法人 森とてんえん倶楽部 Eメール: moritodenen@live.jp
住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-19 城所ビル203 電話: 090-8085-8328(横山宛) FAX: 03-5937-4432

【ご注意】 ☆Eメールでご応募の場合は、必ず森とてんえん倶楽部のEメールが受信できるように設定下さい。
☆T-1とT-2「高尾山の恵み観察と魚取り体験教室」はどちらも同じ催し内容です。どちらの日でも良い場合はその様にお申し込み下さい。
☆募集定員を越えた場合はお断りすることがございます。
☆新型コロナウイルス感染拡大防止の為、催しを中止する場合がありますので、予めご承知おき下さい。

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員
①自然観察会(I)	6/24 (土)	6/10 (土)	40名
②自然観察会(II)	7/30 (日)	7/15 (土)	40名
③自然観察会(III)	9/17 (日)	9/2 (土)	40名
④自然観察会(IV)	11/25 (土)	11/11 (土)	40名
④自然観察会(V)	3/17 (日)	3/2 (土)	40名

【申込方法】メールで、上記表のイベント名「高尾自然観察会(○)希望」と明記の上

- ① 参加者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢(保険加入のため)
- ② 代表者の連絡先(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。
先着順の受付させていただきます。応募者が定員となり次第、締め切り前でも受付を終了いたします。

申込メールアドレス: morijin.network@gmail.com

4. 高尾パークボランティア会 代表 満部 浩一

イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
①昆虫探偵団 オトシブミの不思議	5/28 (日)	4/1~5/9	35名(小学生とその保護者)
②高尾山の新七不思議巡り	9/24 (日)	8/1~9/5	35名(中高生含む一般)
③夜の高尾山でムササビ探し	12/2 (土)	10/1~ 11/13	20名(小学3年生以上と保護者)
⑤初めての野鳥観察	1/25 (木)	12/1~1/5	30名(一般)
⑥花のハイキング	3/21 (木)	2/1~3/1	40名(一般)

【申込方法】往復はがきに返信用宛名を明記の上

- ① 参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・性別
- ② 代表者の住所・電話番号(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。
※ 応募者多数の場合は抽選となります。未就学児の参加はご遠慮ください。また、都合により中止することがあります。

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176 東京都高尾ビジターセンター内 「○○係」宛

※「○○係」には上記表のイベント名を明記してください。



森林インストラクター東京会



森とでんえん倶楽部



森と人のネットワーク



高尾パークボランティア会

編集後記

センターから見えるヤマザクラが満開で山々を鮮やかに彩っています。日に日に新緑の緑が広がっていきます。高尾に春がやってきました。令和5年度のスタートです。



ヤマザクラ

Forest通信 NO.410

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>



国民の森林・緑を守り
自然の恵みを生かす